

2021年6月4日

各位

会社名 株式会社 g u m i
代表者名 代表取締役社長 川 本 寛 之
(コード番号: 3903 東証市場第一部)
問合せ先 取締役 本 吉 誠
(TEL. 03-5358-5322)

営業外収益、特別損失及び法人税等調整額（損）の計上に関するお知らせ

当社は、2021年4月期において、営業外収益（持分法による投資利益、暗号資産評価益及び暗号資産売却益）、特別損失（減損損失及び関係会社株式評価損）及び法人税等調整額（損）を計上いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上について

当社の持分法適用会社である VR FUND, L.P. が保有する投資先の時価上昇等に伴い、2021年4月期第4四半期連結会計期間（2021年2月1日～2021年4月30日）にて、持分法による投資利益2,084百万円を営業外収益として計上いたします。

あわせて、当社の連結子会社である株式会社 gumi Cryptos にて保有する暗号資産に関し時価評価を行った結果、同連結会計期間にて、暗号資産評価益568百万円を営業外収益として計上いたします。また、当社の連結子会社である株式会社 gumi ventures にて保有する暗号資産の売却を行ったことに伴い、同連結会計期間にて、暗号資産売却益740百万円を営業外収益として計上いたします。

なお、2021年4月期連結会計年度（2020年5月1日～2021年4月30日）における持分法による投資利益の計上額は2,368百万円、暗号資産評価益の計上額は1,124百万円、暗号資産売却益の計上額は930百万円であります。なお、当営業外収益に関しては連結業績のみへの影響であり、個別業績への影響はありません。

2. 特別損失の計上について

将来の収益性を見込み、ソフトウェア仮勘定として資産計上している開発中の一部タイトルに関し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて回収可能性を再検討し、保守的に将来の収益見込み等を勘案した結果、帳簿価額の一部を減損処理し、連結で1,647百万円、個別で1,984百万円の減損損失を計上いたします。

また、当社が保有する連結子会社である株式会社エイリムの株式について評価を行った結果、実質価額が著しく下落していることから、2021年4月期の個別決算において減損処理を実施し、関係会社株式評価損として708百万円を特別損失に計上いたします。なお、当関係会社評価損に関しては連結決算において消去されるため、連結業績への影響はありません。

3. 法人税等調整額（損）の計上について

2021年4月期の業績及び今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部の取り崩しをいたしました。加えて、連結上、繰延税金負債の計上を行ったことから、2021年4月期連結決算及び2021年4月期個別決算において、法人税等調整額（損）としてそれぞれ1,187百万円、545百万円を計上いたします。



4. 業績への影響について

上記の営業外収益、特別損失及び法人税等調整額（損）の計上に伴う業績への影響につきましては、本日公表いたしました「2021年4月期連結及び個別業績見通しと前期実績値の差異見込みに関するお知らせ」に記載のとおりです。

以 上